

【2026年度 事業計画】

I 事業の実施方針

気候の危機を回避することのできる決定的な10年も半ばを過ぎ、その実現が危うい状況となっています。世界全体で、温室効果ガスの大幅な削減を確実に達成していくことが求められ続けています。しかしながら、現在も世界の削減目標と対策は十分でなく、平均気温の上昇が1.5℃を超えることを避けられない事態になりつつあります。

近年のエネルギーや希少な資源をめぐる国際的な動向も混乱が続いています。今こそ、省エネと再生可能エネルギーが必要であるという認識を強くする時だと言えます。化石資源に依存しない社会・経済を広めていくことが国際的な安定をもたらすはずです。

国内では、十分ではない再生可能エネルギーの2030年の目標も達成が難しくなっています。地域に豊富にある再生可能エネルギー資源を活用することこそが、私たちの社会、経済、暮らしを守り、豊かさを実感できることにつながります。地域と共生する大規模な再生可能エネルギーの設置が必要であると同時に、市民が主体となって進める再エネの普及も一層、重要性を増しています。草の根の活動を拡充し、世界中の市民と連携できる方向をめざしていくことが求められています。

このような状況を踏まえて、2026年度もきょうとグリーンファンドが取り組んできた活動を継続して、多くの人々や団体と連携しながら、社会の課題解決と脱炭素地域づくりにつながるおひさま発電所設置に取り組んでいきます。

- ① 脱炭素をめざす枠組み「市民再エネプロジェクトin京都」の事務局として、おひさま発電所設置拡大を軸に、さらに再生可能エネルギーの普及に努めます。
- ② 再生可能エネルギーの普及・拡大に向けて、広く他団体との交流にも力を入れます。
- ③ 認定NPO法人の制度を活用し、企業などさまざまなセクターからの理解を得ながら、財政基盤の強化に努めます。
- ④ 上記の活動を達成するため、会員の拡大に努めます。

II 特定非営利活動に係る事業

太陽光発電設備設置事業

- ・市民再エネプロジェクトin京都の事務局として多方面に呼びかけ、「おひさま発電所」の設置に積極的に取り組みます。
- ・寄付、おひさま基金からの助成、設置協力金、補助金などを組み合わせた仕組みで、さらに設置施設の拡大をめざします。
- ・「おひさま基金」の基盤強化に努めます。

学習活動

2026年度は環境学習の募集案内に講師の紹介を入れるなど、よりわかりやすくします。「おひさま発電所」の中で、しばらく環境学習を実施されていない園に積極的にお声がけしていきます。環境学習へのお申込み時に、環境についての園での困りごとや、疑問に思っていること、ご要望などをお聞きして、環境学習に反映させ実施します。施設の効果的な省エネをアドバイスする研修や太陽光発電の災害時の自立運転の切り替え方などの職員

研修の呼びかけは、今年度も続けていきます。

2026年度の環境学習として以下の活動を行います。

- ① 子どもたちに向け、環境腹話術、自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 災害時、避難施設の電源として「おひさま発電所」の自立運転への切り替え方、活用方法などをレクチャーすると同時に防災の観点からの学習会をします。
- ③ 雨水タンクの設置を通じて、子どもたちに水の大切さを伝えます。
- ④ 園の職員に向けた普段の保育に活かせる自然観察会を提供します。
- ⑤ 環境への意識改革と行動を促す内容の職員研修を実施します。(以下 テーマ例)
 - ・エコすごろく作りワークショップ
 - ・パペットシアターのシナリオ作りワークショップ
 - ・省エネワークショップ
- ⑥ 施設の光熱費、水道代、ごみ等の削減を省エネのプロが、アドバイスします。
- ⑦ 夏祭りやグリーンカーテン作りなど、エコな催しのお手伝いをします。
- ⑧ 「環境学習」や「おひさま発電所」設備等の見学会を実施します。

サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センター(以下いきセン)に対する環境活動のサポート
 - ・いきセンと協働して継続してきた上鳥羽地域での環境活動のサポートも12年目となります。また、2016年に上鳥羽北部いきいきおひさま発電所を設置して10周年という記念の一年となります。上鳥羽地域の住民とともに10周年記念イベントを企画し、太陽光発電の利活用を一層進めるとともに、上鳥羽地域のおひさま発電所設置に向けて活動を進めていきます。
地域のボランティア団体「上鳥羽エコまちくらぶ」の「上鳥羽エコメイト」や中唐戸児童館との連携をより一層深め、上鳥羽地区でのエコ活動を進めていきます。
 - ・地域団体の各種イベントの機会をとらえ、環境についての関心を高め、行動につながるよう働きかけます。
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイスをします。

広報活動

- ① ・ニュースレター「ぐりふあんレター」の発行
 - 年2回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動、温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員、一般市民に提供します。
 - ・各種催しに参加
 - 環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ② ホームページ、Facebook、Instagramなどを使った情報発信
 - きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。
 - また、ホームページの環境学習のページを見直します。
- ③ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふあんチャンネル」の充実を図ります。

協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・NPO法人京都地球温暖化防止府民会議（京都府地球温暖化防止活動推進センター）
- ・NPO法人エコネット近畿
- ・NPO法人KES環境機構
- ・一般社団法人市民エネルギー京都
- ・一般社団法人上鳥羽絆会
- ・公益財団法人パブリックリソース財団
- ・公益財団法人京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンター）
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・京都市ごみ減量推進会議
- ・京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・京都市市民活動総合センター
- ・自然エネルギー学校・京都
- ・国際ソロプチミスト京都ーみやこ・わかば
- ・パワーシフト・キャンペーン
- ・Soft Bankつながる募金
- ・有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・ネオス株式会社
- ・太陽ガス株式会社（代理店：Happy Energy）
- ・テラエナジー株式会社
- ・OSUSO(株式会社アスダス)
- ・下京区はぐくみネットワーク実行委員会

以上の団体と協力、連携します。